

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
思・判・表	社会的な思考・判断・表現
技能	資料活用の技能
知・理	社会的事象についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)			
第3・4学年	(4) アイ	1	①	資料から119番通報による関係諸機関の連携・協力の様子を読み取ることができる。		技能	60.0	68.6	
			②	火事が起きた時の警察署の役割について考えることができる。		思・判・表	60.0	67.2	
		(2)		消火栓が道路沿いにある理由について考えることができる。		思・判・表	60.0	57.1	
	(3) アイ	2	(1)	①	近所のごみ置き場のごみ処理の仕方について理解している。		知・理	70.0	91.5
			②	地域の清掃工場のごみ処理の仕方について理解している。		知・理	60.0	72.0	
		(2)	①	資料からリユースの意味について読み取ることができる。	◇	技能	70.0	81.0	
			②	資料からリサイクルの意味について読み取ることができる。	◇	思・判・表	60.0	77.3	
	(5) ウ	3	(1)	①	資料から、琵琶湖疏水の工事のようすについて読み取ることができる。	◇	技能	65.0	52.6
				②		◇	技能	65.0	85.5
				③		◇	技能	65.0	87.1
				④		◇	技能	65.0	91.3
		(2)		資料から、琵琶湖疏水（第二疏水）が完成した頃の京都市の人々の気持ちについて考えることができる。	◇	思・判・表	60.0	36.5	
(1) ア	4	(1)		A駅を基準に、寺の方角を八方位で表すことができる。		技能	60.0	74.6	
		(2)		縮尺を使って実際の距離を導き出すことができる。		技能	70.0	81.0	
		(3)		田を示す地図記号を理解し、その土地の様子を言い表すことができる。		思・判・表	70.0	74.8	
		(4)		図書館、寺、消防署、警察署、郵便局の地図記号を理解し、資料を読み取ることができる。		知・理	60.0	40.4	
	5		等高線の意味を理解している。		技能	60.0	74.8		
(6) アイ	6	(1)		大湊線を地図から読み取ることができる。		技能	70.0	60.2	
		(2)		県内の主要都市の様子を表す文から、その都市名と位置を指摘することができる。	◇	思・判・表	60.0	54.1	
		(3)	①	青森県東部に位置する半島を理解している。		知・理	70.0	50.3	
			②	青森県西部に位置する平野を理解している。		知・理	70.0	64.7	
第5学年	(1) イ	7	(1)	①	沖縄県の産業や家のようすから、あたたかい気候を生かした工夫について考えることができる。		思・判・表	70.0	67.9
				②	沖縄県の産業や家のようすから、高い気温や湿度をしのぐ工夫について考えることができる。		思・判・表	70.0	72.3
				③	沖縄県の産業や家のようすから、台風にも備えた工夫について考えることができる。		思・判・表	70.0	78.9
	(2)	7	(2)	①	季節風と地形の関係から降水量が変わるということを活用して、仙台市（太平洋側の気候）では夏に比べて冬の降水量が少ないわけを考えることができる。	◇	思・判・表	60.0	53.8
				②					
				③					
				④					
	(2) アウ	8	(1)	①	米づくりの仕事を理解している。		知・理	70.0	89.9
				②			知・理	70.0	86.5
			(2)	あきこ	米の多様な用途について考えることができる。	◇	思・判・表	60.0	71.9
まこと				農家の後継者育成について考えることができる。	◇	思・判・表	60.0	73.4	
ひろし				品種改良や米の多様な調理方法について考えることができる。	◇	思・判・表	60.0	62.4	
(1) ア	9	(1)		日本の領土を理解している。		知・理	60.0	54.8	
		(2)	①	日本の国土の構成を理解している。		知・理	70.0	88.5	
			②						
(3)	①	条件から世界の主な国の名称を指摘できる。(ロシア)		思・判・表	70.0	90.6			
	②	条件から世界の主な国の名称を指摘できる。(オーストラリア)		思・判・表	70.0	60.2			

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号			問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内			
					青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)	①	119番通報の仕組みの読み取り	60.0	70.4	71.0	59.1	68.1	68.5	69.4	66.9
		②	出火時の警察署の役割の指摘	60.0	66.7	67.5	53.2	66.3	67.9	64.6	65.6
	(2)		消火栓配置の理由の指摘	60.0	59.5	60.0	50.0	53.4	47.1	62.6	54.4
2	(1)	①	ごみ置き場のごみ処理の仕方の理解	70.0	91.2	91.3	89.0	92.5	92.8	92.2	92.5
		②	清掃工場のごみ処理方法の理解	60.0	77.2	77.6	70.1	70.1	68.9	70.4	71.0
	(2)	①	リユース、リサイクルの意味の読み取り	70.0	82.3	83.0	70.8	78.3	80.2	74.8	78.5
		②	リデュースの取組内容の指摘	60.0	76.3	77.1	63.0	77.6	76.4	78.2	78.5
3	(1)	①	琵琶湖疏水工事の様子の読み取り	65.0	49.1	49.9	35.1	50.2	49.7	53.1	49.0
		②		65.0	85.1	85.5	77.9	84.6	83.2	88.1	84.0
		③		65.0	86.9	87.3	80.5	86.8	85.6	90.5	85.8
		④		65.0	90.1	90.7	81.2	91.3	91.2	92.2	90.8
	(2)		疏水完成時の人々の思いの指摘	60.0	36.9	37.1	33.1	37.9	37.7	39.1	37.3
4	(1)		八方位を用いた位置の読み取り	60.0	72.6	73.3	60.4	76.3	78.4	75.2	74.8
	(2)		縮尺を使った距離の算出	70.0	80.8	80.9	78.6	79.2	80.2	79.6	77.9
	(3)		土地利用の様子の指摘	70.0	70.1	69.9	72.7	75.1	73.1	83.0	72.3
	(4)		地図記号の理解	60.0	37.0	37.4	29.2	44.8	46.7	51.0	39.0
5			等高線の意味の理解	60.0	75.0	75.3	68.8	74.7	73.1	77.9	74.4
6	(1)		県内の鉄道の名称の読み取り	70.0	61.0	61.3	55.8	60.0	63.5	59.9	56.5
	(2)		条件に該当する都市名と位置の指摘	60.0	56.6	57.5	40.9	54.3	55.4	57.8	51.0
	(3)	①	半島（下北半島）の理解	70.0	45.9	47.0	26.6	49.1	49.6	58.8	42.5
②		平野（津軽平野）の理解	70.0	61.0	62.1	42.9	73.9	74.5	82.7	67.9	
7	(1)	①	暖かい気候を生かした工夫の指摘	70.0	68.5	69.0	59.7	64.4	65.3	62.9	64.4
		②	高温や湿度をしのぐ工夫の指摘	70.0	72.4	72.7	68.2	71.1	71.5	70.7	70.8
		③	台風に備えた工夫の指摘	70.0	77.7	78.1	70.1	79.9	83.0	79.6	76.9
	(2)		太平洋側の気候の特徴の指摘	60.0	52.5	53.4	37.0	54.0	53.7	57.1	52.3
8	(1)	①	米づくりの仕事の内容(田植え)の理解	70.0	89.5	89.6	87.7	90.2	89.6	96.3	87.1
		②	米づくりの仕事の内容(刈り取り)の理解	70.0	85.4	85.4	84.1	86.9	86.6	89.8	85.4
	(2)	あきこ	米の多様な用途についての指摘	60.0	72.9	73.2	67.4	69.1	69.7	70.4	67.9
		まこと	農家の後継者育成についての指摘	60.0	75.5	75.9	67.4	71.1	71.5	70.1	71.3
	ひろし	品種改良や加工品についての指摘	60.0	64.1	64.4	58.7	60.7	59.3	62.9	60.6	
9	(1)		日本の領土の範囲の理解	60.0	50.6	51.1	42.9	52.7	50.3	53.7	54.6
	(2)		日本の国土の構成の理解	70.0	87.9	88.4	79.9	89.6	92.6	87.4	87.9
	(3)	①	条件に該当する国名(ロシア)の指摘	70.0	89.2	89.5	83.1	91.0	90.8	93.5	89.6
		②	条件に該当する国名(オーストラリア)の指摘	70.0	60.5	61.2	48.7	56.6	55.5	59.9	55.8
教 科 全 体				65.0	69.9	70.4	61.4	70.1	70.1	72.2	68.7

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
66.2	68.2	68.9	63.4	56.0	68.1	67.4	67.0	69.0	65.0	65.4	63.5	70.3	71.1	67.5	68.6
63.8	63.7	67.9	66.0	57.4	70.8	69.5	69.9	72.0	65.0	68.3	51.8	69.1	69.7	67.0	67.2
57.1	59.3	57.2	53.8	49.8	53.4	47.8	50.4	58.1	53.4	53.3	54.0	59.8	59.0	62.9	57.1
91.0	90.9	93.4	91.6	88.1	92.7	93.1	95.6	91.2	89.8	89.7	90.5	91.4	91.9	89.2	91.5
66.9	67.5	70.8	59.9	66.1	73.2	76.2	78.2	69.4	67.8	67.2	70.1	72.0	71.8	72.7	72.0
81.6	81.8	80.2	83.2	80.9	77.5	78.5	79.5	76.0	81.2	83.1	73.7	82.6	83.3	80.1	81.0
80.0	81.5	73.3	79.8	80.9	74.7	78.3	70.1	74.4	74.9	75.9	70.8	78.2	77.8	80.1	77.3
50.8	48.3	58.2	54.6	50.9	55.2	55.4	46.5	58.6	54.4	54.9	52.6	56.3	57.3	52.8	52.6
83.5	85.1	80.2	83.6	79.4	86.6	86.8	88.3	85.7	85.1	87.9	73.7	87.1	86.8	88.5	85.5
84.3	85.4	81.1	85.1	81.9	87.8	87.7	89.9	87.1	87.8	88.6	84.7	89.0	89.0	89.3	87.1
90.9	91.2	91.2	91.6	88.8	92.5	91.9	93.0	92.6	90.3	91.4	85.4	92.2	91.7	93.9	91.3
34.1	35.7	29.2	37.4	28.5	36.7	35.3	40.3	36.1	38.0	39.9	29.9	36.8	36.8	37.1	36.5
71.8	73.1	76.7	63.4	67.9	78.1	82.4	73.0	77.7	75.4	75.9	73.0	75.4	74.9	77.6	74.6
80.4	81.4	81.8	79.4	75.1	81.9	81.1	80.0	83.1	77.1	76.1	81.0	83.1	83.1	83.0	81.0
74.2	75.3	73.0	66.0	78.0	75.1	81.1	65.2	75.5	74.5	75.8	69.3	79.8	80.0	79.0	74.8
38.1	37.3	44.3	36.6	36.1	46.3	44.6	45.7	47.6	41.5	42.2	38.7	39.2	38.8	40.7	40.4
74.7	75.9	76.1	73.3	69.0	76.2	76.4	79.7	74.7	72.8	72.4	74.5	74.3	74.9	72.2	74.8
57.5	57.4	57.9	56.5	58.1	61.3	59.6	57.9	63.7	76.2	75.5	78.8	56.9	55.7	61.5	60.2
48.8	50.3	49.1	39.3	50.5	52.1	46.0	50.9	56.3	56.2	55.7	58.4	56.6	55.7	59.6	54.1
50.0	51.9	54.4	32.4	52.7	57.3	54.7	52.2	61.0	65.3	65.9	62.8	46.7	46.6	47.2	50.3
63.3	64.4	58.2	63.0	63.9	66.9	66.5	51.2	73.5	65.1	65.2	65.0	63.7	62.6	67.8	64.7
65.0	64.8	65.7	68.7	61.7	69.6	72.8	70.1	67.4	68.3	68.6	67.2	69.9	71.2	65.4	67.9
70.9	70.9	74.8	70.2	67.5	73.1	75.1	70.6	72.9	71.5	72.5	67.2	73.3	73.8	71.7	72.3
77.1	76.6	81.8	79.0	71.8	80.3	81.1	81.3	79.3	78.2	78.3	78.1	80.5	81.1	78.3	78.9
50.1	50.6	49.7	48.1	49.8	56.5	54.0	53.5	59.1	52.1	52.2	51.8	56.6	55.7	59.8	53.8
89.5	88.3	92.8	92.0	88.8	92.2	92.8	90.4	92.4	87.7	88.1	86.1	89.6	88.7	93.2	89.9
84.0	82.9	88.7	84.7	83.8	90.1	89.6	88.1	91.0	85.7	85.9	84.7	87.5	87.2	88.8	86.5
69.8	71.0	66.7	70.2	67.1	74.1	74.4	74.1	73.9	70.9	70.6	72.4	72.7	73.7	69.1	71.9
70.9	71.7	69.2	72.9	67.1	73.6	73.0	74.8	73.6	71.2	71.8	68.3	74.7	74.9	74.0	73.4
59.4	60.0	56.6	62.2	57.0	63.5	63.0	65.6	63.2	59.9	59.7	61.0	63.6	63.7	63.3	62.4
49.2	48.2	48.7	50.4	53.8	58.6	61.2	55.6	58.2	61.0	61.9	57.7	60.2	61.0	57.2	54.8
87.2	87.0	91.2	90.1	80.9	89.9	88.9	88.8	90.9	89.3	89.7	87.6	88.4	88.1	89.7	88.5
89.7	89.2	91.2	93.5	87.4	92.6	94.0	89.6	93.0	90.8	91.3	89.1	91.2	91.3	91.1	90.6
57.8	56.3	59.1	62.6	59.2	61.9	59.4	61.3	63.6	59.7	58.5	65.0	62.3	62.3	62.2	60.2
68.5	68.9	69.4	67.8	66.4	71.6	71.8	69.9	72.3	70.7	71.2	68.8	71.5	71.5	71.6	70.4

## ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各内容・領域 の通過率 (%)	設定通過率 (%)
人々の生活・ 先人の働き	9	2(1)①、2(2)①、 3(1)②、3(1)③、 3(1)④	3(1)①、3(2)	75.0	64.4
人々の安全	3		1(2)	64.3	60.0
地域の様子・ 青森県の特徴	9	4(2)	4(4)、6(1)、 6(2)、6(3)①	63.9	65.6
食料生産	5	8(1)①、8(1)②		76.9	64.0
国土の環境	8	9(2)、9(3)①	7(2)、9(1)、 9(3)②	70.9	67.5

## エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各観 点の 通 過 率 (%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断・ 表現	15	9(3)①	1(2)、3(2)、 6(2)、7(2)、 9(3)②	66.5	64.0
観察・資料 活用の技能	10	2(2)①、3(1)②、 3(1)③、3(1)④、 4(2)	3(1)①、6(1)	75.7	65.0
社会的事象に ついての知識・ 理解	9	2(1)①、8(1)①、 8(1)②、9(2)	4(4)、6(3)①、 9(1)	70.8	66.7

## オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率 (%)	設定通過率 (%)	主 な 誤 答 ( 無 答 を 含 む ) 例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1 (2)	57.1	60.0	無答 (5.9)、「消防車が来る前に火を消すため」という考え方 (5.9)、「じゃまにならないように」という考え方 (5.9)
3 (2)	36.5	60.0	イウ (19.2)、エオ (15.0)、イオ (7.5)、アイ (7.1)、 無答 (3.0)
4 (4)	40.4	60.0	① 市役所 (6.4)、無答 (4.3)、神社 (3.4)、工場 (2.1) ② 無答 (4.3)、病院 (3.8)、寺 (2.6)、警察署 (1.7) ③ 交番 (27.8)、無答 (6.8)、消防署 (3.0)、学校 (2.1)
6 (2)	54.1	60.0	まことの記号 B (7.7)、無答 (5.1)、C (3.4)、D (3.0) まことの市名 無答 (10.3)、青森 (4.7)、むつ (3.4) かおるの記号 D (18.8)、無答 (5.1)、A (4.7)、E (2.1) かおるの市名 無答 (12.8)、つがる (5.6)、八戸 (4.3)
7 (2)	53.8	60.0	①→ア (13.3)、④→オ (10.8)、③→イ (8.8)、 ③→ウ (8.8)、④→イ (4.6)、②→ウ (4.2)
9 (3)②	60.2	70.0	ニュージーランド (14.5)、無答 (5.6)、サウジアラビア (4.7)、中華人民共和国 (3.0)、大韓民国 (2.6)、アメリ カ合衆国 (2.1)、ブラジル (1.7)

- 誤答の原因として、**1**(2)と**7**(2)では、無答が多かったことや設問の意図を十分に理解していないと思われる解答が多かったことから、資料や社会的事象を関連付けて考える力が不十分なことが考えられる。
- 誤答の原因として、**3**(2)と**6**(2)では、選択する記号の誤答が多かったことや無答が多かったことから、既習の知識や資料から読み取ったことを基に、与えられた条件に即して項目を選択する力が不十分なことが考えられる。
- 誤答の原因として、**4**(4)では、無答が多かったことや**3**の地図記号の誤答が多かったことから、地図記号の名称の理解が不十分なことが考えられる。
- 誤答の原因として、**9**(3)②では、ニュージーランド（南半球）の誤答が多かったことや、北半球の国々などの誤答が多かったことから、経度、緯度や赤道など習得した内容を踏まえ、それらを活用する力が不十分なことが考えられる。

## カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「青森県の特徴」の学習内容の定着が挙げられる。この学習内容のまとまりの1つが、学習指導要領における第3学年及び第4学年の内容(6)のイで示されている、「県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置」である。今後の指導においては、資料を活用したり白地図にまとめたりする学習の工夫が大切である。

### 指導例

#### 資料を活用して白地図にまとめ、県の特徴をとらえさせる指導

##### ～小単元名「わたしたちの県」～

#### ポイント1 発問によって、調べる意欲と学習する必然性をもたせる。

「青森県の〇〇について調べよう」と課題を設定する前に、発問を工夫することによって、児童に調べる意欲と必然性をもたせる。



例1)「地形の様子」の学習につながる発問

青森県を空から見ると、どのように見えるかな？

例2)「主な都市の位置」の学習につながる発問

青森県を代表する都市は、どこかな？

例3)「交通網の様子」の学習につながる発問

県外の観光客は、どのようにして青森県に来るのかな？

#### ポイント2 指を使って指し示したり、なぞったり、囲んだりさせる。

特に中学年の児童には、地図を体感的に捉えさせることが重要である。

例えば、特定の駅の位置を指し示し鉄道をなぞったり、特定の市町村の範囲を囲んだりする。このように指を使わせることによって、必要に応じて地図を点で捉えたり、線で捉えたり、面で捉えたりすることができる。また、指を使った作業は、児童同士が情報を共有化した学び合いにもつながる。

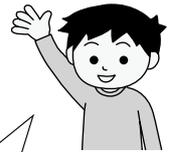


大湊線は、大湊駅から野辺地駅までだね。

#### ポイント3 主題ごとに白地図にまとめさせる。

地形、土地利用の様子、主な都市や交通網などの多くの主題を1枚の白地図にまとめるのではなく、1時間で1つの主題を1枚の白地図にまとめさせる。

このことによって、作業が容易になるとともに、各主題の視点から見た青森県の特徴を捉えやすくなる。また、1つの主題においては、例えば、主な山地であれば標高、主な都市であれば人口に着目させるなどの手立てによって、白地図にまとめる対象となる情報を絞ることも必要である。



市町村別の人口を調べたら、1位：青森市、2位：八戸市、3位：弘前市だったよ！

**ポイント4** 主題ごとにまとめた複数の地図を関連付けて考えさせる。

主な都市についてまとめた地図と、交通の様子をまとめた地図を見て気が付いたことは？



大きな市に、道路や鉄道が集まっていることが分かります！

地形についてまとめた地図と、土地利用の様子をまとめた地図を見て気が付いたことは？



土地が広くて低い津軽平野では、米づくりがさかんです！

上記のような発問をすることによって、児童がまとめた複数の地図が有効な資料となる。そして、県の特徴についての理解が深まるとともに、社会的な見方や考え方を育てることにつながる。

個々の問題の誤答傾向からみた課題としては、例えば、消火栓が道路沿いにある理由を「消防車」という言葉を使って記述することなど、社会的事象の特徴や相互の関連について考え、適切に説明する力の向上が挙げられる。今後の指導においては、観察、調査の仕方のポイントを押さえた指導と、その後の話し合いを充実させる指導の工夫が大切である。

**指導例**

社会的事象の特徴や相互の関連について考え、適切に説明する力を高める指導  
～小単元名「火事からくらしを守る」～

**ポイント1** 児童自身の目でよく見たり調べたりさせる。

観察、調査の仕方（学習指導要領解説より）

- ありのままに観察する。
- 数や量に着目して調査する。
- 観点に基づいて観察、調査する。
- 他の事象と対比しながら観察、調査する。
- まわりの諸条件と関係付けて観察、調査する。

地域の防火・消火のための施設調べの場合

- 消火栓、消火器、防火水そう など
  - 道路の幅、通る車の数、周囲の建物
  - 見つけた施設の数
  - 間隔（どれくらいの距離ごとにあるか）
- など

**ポイント2** 調べた後の話し合いを充実させる。

（調べてまとめた地図を基にしながら、消火栓に焦点を絞った話し合いの例）



私たちが火事から守る工夫として、どんなことが挙げられますか？

**発見1**  
消火栓が道路沿いに多いこと

理由は、消防車が来た時、ホースをすぐにつないで、火を速く消せるからだと思います。

**発見2**  
建物が集まっている所に消火栓が多いこと

理由は、建物が多いと、そこで生活や仕事をしている人が多いからだと思います。

**発見3**  
見つけた消火栓が全部、地上式だったこと

理由は、雪が積もっても地上式のは見つけやすいからだと思います。



地上式消火栓



消防車と消火栓を関連付けた考え方



地図上の分布から見た考え方



他の地域と比較した考え方

話し合いの中で、「〇〇君は、～と～を関連づけて考えたんだね。」などのように、児童の気付きや考え方に意味付けをすることが、教師の役割として重要である。このような指導の積み重ねが、社会的事象の特色や相互の関連について考え、適切に説明する力を高めることにつながる。

「活用」に関する問題の課題としては、資料から読み取った事実を活用して思考・判断・表現する力の向上が挙げられる。社会科における「活用」は、習得した知識・技能を活用して考えることと、獲得した社会的な見方や考え方を他の場面で活用することという2つの側面から考えることができる。今後の指導においては、調べたことや既習事項を活用して考えさせる場面を意図的に設定した学習の工夫が大切である。以下、社会科で身に付けさせたい思考方法とその具体例を示す。

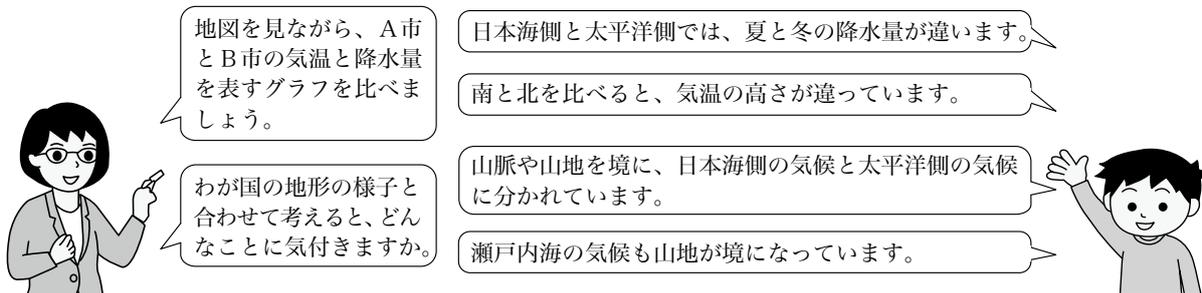
### 指導例

#### 調べたことや既習事項を活用して考えさせる場面を意図的に設定した指導 ～小単元名「国土の気候の特色と人々の暮らし」～

**ポイント1** 調べた事実を比べさせることで「特色」をとらえさせる。 思考方法…比べる

**ポイント2** 複数の事象や既習事項を関連付けることで「意味」をとらえさせる。 思考方法…関連付ける

わが国の気候の特色についてまとめた地図や気温・降水量のグラフを基に調べる際、他の地域と比べる、白地図と関連付ける、わが国の地形の様子と関連付けるなどの活動が考えられる。



教師: 地図を見ながら、A市とB市の気温と降水量を表すグラフを比べましょう。

生徒: 日本海側と太平洋側では、夏と冬の降水量が違います。

生徒: 南と北を比べると、気温の高さが違ってきます。

教師: わが国の地形の様子と合わせて考えると、どんなことに気付きますか。

生徒: 山脈や山地を境に、日本海側の気候と太平洋側の気候に分かれています。

生徒: 瀬戸内海の気候も山地が境になっています。

**ポイント3** まず事実を調べさせ、その上で意味を考えさせることで「工夫」をとらえさせる。

沖縄県の家づくりや産業を調べる際にも、自分たちの住んでいる地域と比べることで沖縄県の特徴が見える。次にその理由を沖縄の気候と関連付けて考えさせる。そのときに何のための「工夫」なのかということに気付かせる。

何のための「工夫」かを考えることが大切なんだね。



**ポイント4** 1単位時間のまとめでは、「たとえば」「なぜなら」を使わせる。

「いろいろな」「便利な」などの言葉を用いた学習のまとめでは、調べた個々の事実には触れられないこともある。その場合、「たとえば」「なぜなら」等の語句で補わせることで、具体的な内容を押さえることができるし、評価としても活用できる。

思考方法…演繹的な思考

沖縄県の家では、気候に合わせていろいろな工夫をしています。たとえば、コンクリートづくりの家にしったり平らな屋根にしったりして、台風の被害を防ぐようにしています。



**ポイント5** 単元のまとめでは、「このように」「つまり」を使わせる。

単元のまとめでは、これまで学習した内容をより一般化した上での概念的な理解が必要になる。その際、「このように」「つまり」といった語句で学習内容をまとめさせることが有効である。

思考方法…総合する  
(帰納的な思考)

あたたかい沖縄県では、暑さや台風からくらしを守る工夫をしている。また、冬でもあたたかい気候を生かして農産物の促成栽培・抑制栽培をしている。

低地の津山市では、輪中という水からくらしを守る工夫をしたり、水が手に入りやすいという低い土地の特色を生かして農産物の生産をしたりしている。

このように、国土の各地では、それぞれ自然からくらしを守ったり自然を生かしたりするなど、気候や地形に合わせたくらしや産業の工夫をしています。



また、獲得した社会的な見方や考え方を他の場面で活用する学習の工夫も大切である。以下のように単元のつながりを意識して学習を進めていくことで、社会的な事象をより広い視野から考える力を育てていく。

**指導例**

獲得した社会的な見方や考え方を他の場面で活用する学習の例

	獲得する場面 (単元)	獲得したい見方や考え方	活用する場面 (単元)
4 学 年	「火事からくらしを守る」	関係機関と地域の人々などが協力していること	「事故や事件からくらしを守る」 「住みよいくらしをつくる」
5 学 年	「わたしたちの生活と食料生産」	消費者の需要にこたえるための品種改良や、生産を高めるための技術改良	「わたしたちの生活と工業生産」
6 学 年	前単元での学習	人物の働きや文化遺産を学習した際の見方や考え方	次単元での学習

**キ** まとめ

内容・領域についての学習状況は、「人々の生活・先人の働き」、「食料生産」において、おおむね良好である。しかし、「地域の様子・青森県の特色」においては、地図記号の意味、県内の主要都市の位置やその特色についての理解は十分とは言えない。

今後は、児童が意欲的に地図帳を活用する場面や、白地図等の作業的な活動をする場面を取り入れた問題解決的な学習過程の授業を行うようにしたい。

評価の観点からみた状況は、「観察・資料活用の技能」、「社会的な事象についての知識・理解」において、おおむね良好である。しかし、「社会的な思考・判断・表現」においては、十分とは言えない。

今後は、ポイントを押さえた観察・調査活動を行うとともに、活動後は、社会的な事象の特色や社会的な事象の相互の関係について考えたり話し合ったりする活動を取り入れた授業を行うようにしたい。

「活用」に関する問題については、多くの問題が設定通過率を上回っているものの、不十分な点が認められる。

今後は、資料から読み取った事実を活用して考えたり、話し合ったり、まとめたりする活動を取り入れた授業を行うようにしたい。